



2026年3月期 第2四半期決算

2025年10月30日
株式会社オリエンタルランド

I. 決算概要

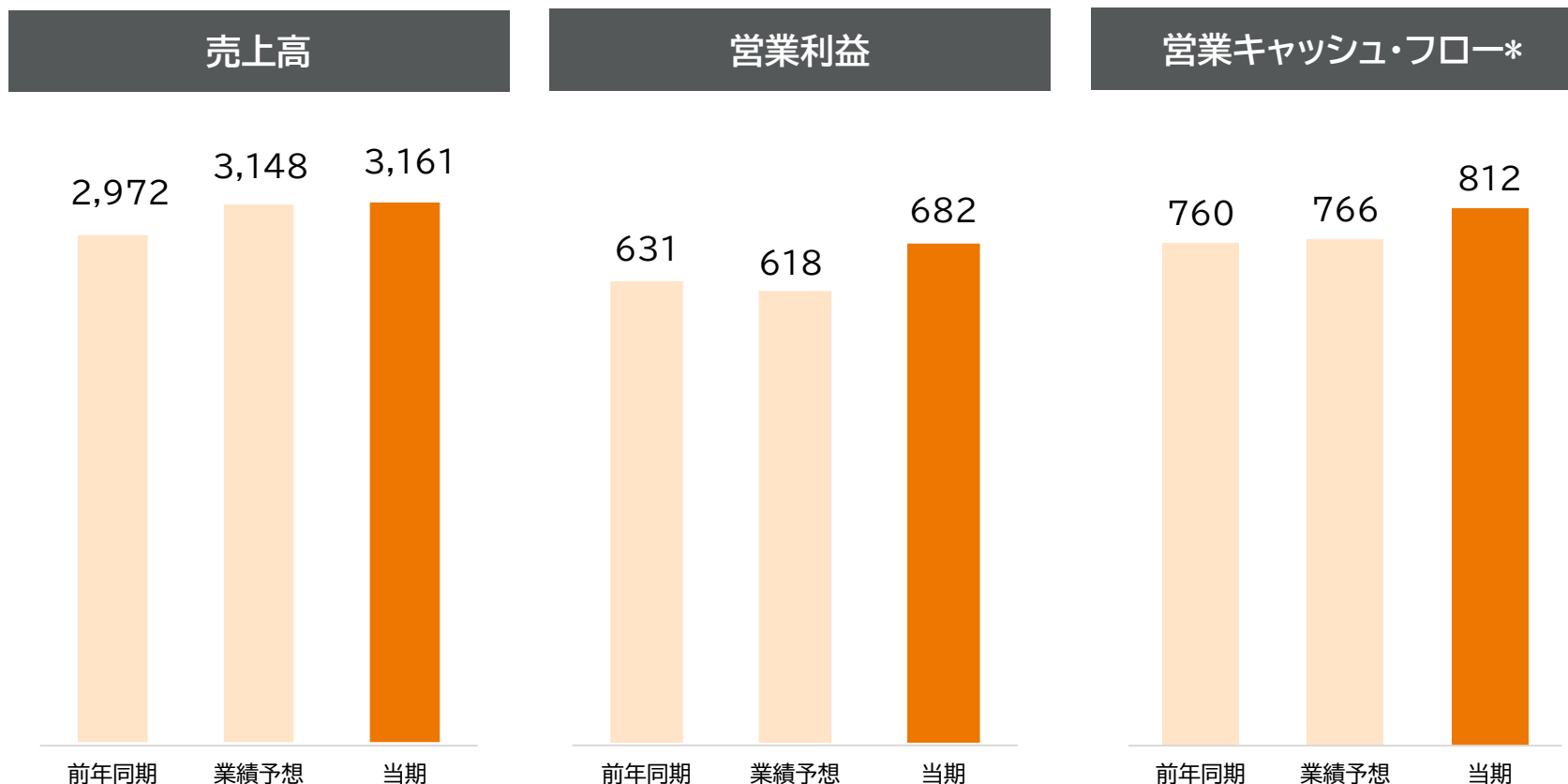
II. 2026年3月期 業績の見通し

III. 組織改正について

I . 決算概要

ファンタジースプリングスやスペシャルイベントの好調などにより、
連結売上高、営業利益、営業キャッシュ・フロー*は対前年・対業績予想ともに上回った

(億円)



*営業キャッシュ・フロー＝親会社株主に帰属する中間純利益＋減価償却費

ゲスト1人当たり売上高の増やホテル収入の増などにより、増収増益

(億円)

連結損益計算書	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	2,972	3,161	189	6.4%
テーマパーク事業	2,387	2,517	129	5.4%
ホテル事業	502	561	58	11.6%
その他の事業	82	82	0	1.0%
営業利益	631	682	50	8.0%
テーマパーク事業	499	497	△ 2	△ 0.4%
ホテル事業	123	175	51	41.4%
その他の事業	5	6	1	21.1%
経常利益	639	693	53	8.3%
特別利益	2	-	△ 2	-
税金等調整前中間純利益	642	693	50	7.9%
親会社株主に帰属する中間純利益	455	483	27	6.1%

テーマパーク事業
売上高

入園者数はほぼ同様。前年同期はスペース・マウンテンのクローズ前需要があったものの、当上半期はファンタジースプリングスやスペシャルイベントが好調となった

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高(億円)	2,387	2,517	129	5.4%
入園者数(万人)	1,220	1,225	5	0.4%

入園者数はほぼ同様

- ー ファンタジースプリングスの好調による増
- ー スペシャルイベントの好調による増
- ー 前年同期のスペース・マウンテンのクローズ前需要による減



「サマー・クールオフat Tokyo Disney Resort」の広告やコンテンツ

様々なコンテンツや施策が話題・需要を喚起し、入園者数の底上げにつながった

パーク内体験

- ー 夏期のパークに来園する目的として、スペシャルイベントの効果は昨年度より高まった
- ー 若年層などターゲットとしていた層の体験への意向が高かった
- ー 特にアトラクションのスペシャルバージョンや、新規夜間ショーの満足度が高かった
- ー 冷風機やボトル用ウォーターサーバーの設置など、快適性向上のための取り組みを多数実施

魅力の訴求 ・ 来園しやすい 仕組みづくり

- ー アーティストとのコラボレーションをフックに、メディアやSNSにおいて、効果的に話題を拡散
- ー 夕方以降の豊富なパーク体験を訴求しながら、夜間券の選択肢を増やしたことなどにより入園者数の底上げにつながった

快適性向上のための取り組みとして、様々な施策を積極的に実施



ゲストの待機列に冷風機の設置



ドリンクボトル用ウォーターサーバー



トゥーンタウンのびしょ濡れスポット



タープと保水性舗装

テーマパーク事業
売上高

ゲスト1人当たり売上高の各収入が増加し、過去最高となった

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高(億円)	2,387	2,517	129	5.4%
ゲスト1人当たり売上高 (円)	17,303	18,196	893	5.2%
アトラクション・ショー収入	8,914	9,447	533	6.0%
商品販売収入	4,997	5,174	178	3.6%
飲食販売収入	3,392	3,574	182	5.4%

ゲスト1人当たり売上高は上回った

- ・ アトラクション・ショー収入の増
 - ー ディズニー・プレミアアクセスの増
 - ー 変動価格制による高価格帯チケット構成比の増
- ・ 商品販売収入の増
 - ー ダッフィー＆フレンズ20周年関連商品の増
 - ー ファンタジースプリングス関連商品の減
- ・ 飲食販売収入の増
 - ー ファンタジースプリングス内店舗の通期稼働による増
 - ー 前年同期の休止店舗の再開による増

テーマパーク事業
営業利益

諸経費や人件費などが増加したものの、売上高の増などによりほぼ同様
(億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	2,387	2,517	129	5.4%
営業利益	499	497	△ 2	△ 0.4%

営業利益はほぼ同様

		(億円)
売上高の増		諸経費の増 △ 54
商品・飲食原価率の減	5	システム関連費用の増 △ 17
人件費の増	△ 44	メンテナンス費の増 △ 15
正社員人件費の増	△ 19	租税公課の増 △ 9
準社員人件費の増	△ 14	その他 △ 11
その他	△ 11	減価償却費の増 △ 17
		新規資産取得による増など

※コストにおける△表示は、営業利益に対する減少影響を示しています。

ホテル事業

宿泊収入の増により増収増益となり、売上高と営業利益は過去最高

(億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	502	561	58	11.6%
ディズニーホテル	461	516	54	11.9%
客室稼働率(%、pt)	93.3	92.3	△1.0	
平均客室単価(円)	61,456	66,806	5,350	8.7%
その他ホテル	40	44	3	8.7%
営業利益	123	175	51	41.4%

売上高の増

- 東京ディズニーシー・ファンタジースプリングスホテルの
通期稼働による増
- 客室単価の増

営業利益の増

- 売上高の増

その他の事業

その他の事業は増収増益

(億円)

	2025年3月期 実績	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	82	82	0	1.0%
営業利益	5	6	1	21.1%

売上高の増

- ・ イクスピアリ事業の増

営業利益の増

- ・ 売上高の増
- ・ 諸経費の減

売上高はほぼ同様。営業利益は、諸経費の減などにより、業績予想を上回った (億円)

連結損益計算書	2026年3月期 業績予想	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	3,148	3,161	13	0.4%
テーマパーク事業	2,507	2,517	9	0.4%
ホテル事業	563	561	△ 2	△ 0.5%
その他の事業	77	82	5	7.6%
営業利益	618	682	63	10.3%
テーマパーク事業	446	497	51	11.5%
ホテル事業	168	175	6	3.6%
その他の事業	1	6	5	413.3%
経常利益	625	693	67	10.8%
税金等調整前中間純利益	625	693	67	10.8%
親会社株主に帰属する中間純利益	435	483	47	10.8%

テーマパーク事業
売上高

ゲスト1人当たり売上高は、商品・飲食販売収入の増により、業績予想を若干上回った

(億円)

	2026年3月期 業績予想	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	2,507	2,517	9	0.4%
	業績予想比較	主な増減要因		
入園者数	ほぼ同様	ー ファンタジースプリングスの好調による増 ー スペシャルイベントの好調による増 ー 前年同期のスペース・マウンテンのクローズ前需要による減		
ゲスト1人当たり 売上高	若干上回った	・ アトラクション・ショー収入 ほぼ同様 ・ 商品販売収入 上回った ー レギュラー商品の増 ー 食品の増 ・ 飲食販売収入 上回った ー スペシャルイベント関連メニューなどの増 ー フードスーベニアの増		

テーマパーク事業
営業利益

諸経費や商品・飲食原価率の減などにより、営業利益は業績予想を上回った

(億円)

	2026年3月期 業績予想	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	2,507	2,517	9	0.4%
営業利益	446	497	51	11.5%

(億円)

営業利益の増

売上高の増	
商品・飲食原価率の減	約 20
諸経費の減	約 35
販売促進費の減	約 10
システム関連費用の減	約 10
研究開発費の減	約 5
その他	約 10

※人件費、減価償却費はほぼ同様

ホテル事業

ホテル事業の売上高はほぼ同様。
諸経費の減などにより営業利益は業績予想を上回った (億円)

	2026年3月期 業績予想	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	563	561	△ 2	△ 0.5%
営業利益	168	175	6	3.6%

売上高はほぼ同様

営業利益の増

- ・ 諸経費の減

その他の事業

その他の事業は、売上高、営業利益ともに業績予想を上回った (億円)

	2026年3月期 業績予想	2026年3月期 実績	増減	増減率
売上高	77	82	5	7.6%
営業利益	1	6	5	413.3%

売上高の増

営業利益の増

- ・ イクスピアリ事業の増
- ・ モノレール事業の増
- ・ 売上高の増

Ⅱ. 2026年3月期 業績の見通し

現時点では、2026年3月期業績予想を据え置く。第4四半期まで様々な施策を展開していく

2026年3月期業績予想について

上半期は業績予想と比較して増益となったものの、第3四半期以降がテーマパーク入園者数のボリュームゾーンであることから、現時点では、2026年3月期業績予想を据え置く

▼第4四半期のスペシャルイベント、施策について



スペシャル イベント

「ディズニー・パルパルーザ」第5弾「ミニーのファンダーランド」
(東京ディズニーランド®、2026年1月14日～2026年3月2日)

新規 エンターテインメント

「ダンス・ザ・グローブ！」
(東京ディズニーシー® ウォーターフロントパーク新規ショー
2026年1月14日～2027年3月31日)

チケット施策

- ・「カレッジパスポート(期間限定)」
大人7,000円～9,000円
- ・「1デーパークホッパーパスポート(期間限定)」
大人14,500円～18,900円

Ⅲ. 組織改正について

全社の組織体制を機能別に編成し、中長期の成長を加速させていく

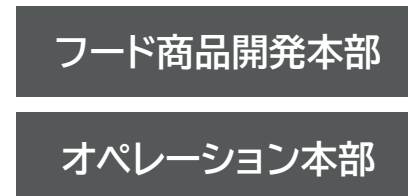
「2035長期経営戦略」を推進するため、持続的成長に向けた事業構造の進化による企業価値の向上を目指している。
より機動的で専門性の高い組織体制に変更し、各機能の効率化と強化を図るべく、組織改正を実施。

▼組織改正 一例

(従来)事業別の組織



(今後)機能別の組織



テーマパークのオペレーション部門を再編

●目的

- 一 事業部を超えた連携を今まで以上に強化
- 一 同質性の高い機能を担う組織を集約し、将来的な効率化を図る

Appendix

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能

東京ディズニーランド アトラクション	導入日	価格	東京ディズニーランド エンターテイメント	導入日	価格
美女と野獣“魔法のものがたり”	2022年5月19日	¥2,000	ディズニー・ハーモニー・イン・カラー	2023年4月15日	¥2,500
スプラッシュ・マウンテン	2022年12月1日	¥1,500	東京ディズニーランド・エレクトリカルパレード・ドリームライツ	2023年4月15日	¥2,500
ベイマックスのハッピーライド	2022年12月1日	¥1,500	Reach for the Stars	2024年9月20日	¥2,500
			ミッキーのマジカルミュージックワールド	2024年11月13日	¥2,500
			クラブマウスビート	2024年11月13日* ¹	¥2,500
			ディズニー・パルパルーザ クワッキーセレブレーション★ ドナルド・ザ・レジェンド！	終了2025年4月8日* ²	¥2,500
			ザ・ヴィランズ・ハロウィーン“Into the Frenzy”	2025年9月17日* ³	¥2,500
			トイズ・ワンダラス・クリスマス！	2025年11月11日* ⁴	¥2,500
			ディズニー・パルパルーザ ミニー@ファンダーランド	2026年1月14日* ⁵	¥2,500

※2025年10月30日時点で公表しているものを記載しています。
*1 2026年3月30日で販売終了予定です。
*2 2025年4月8日～6月30日の間、対象でした。
*3 2025年9月17日～10月31日の間、対象です。
*4 2025年11月11日～12月25日の間、対象です。
*5 2026年1月14日～3月2日の間、対象です。

パーク内施設等の体験時間や入場時刻を指定して予約できる有料のサービス。少ない待ち時間で施設の利用が可能

東京ディズニーシー アトラクション	導入日	価格	東京ディズニーシー エンターテイメント	導入日	価格
ソアリン:ファンタスティック・フライト	2022年5月19日	¥2,000	ビリーヴ! ~シー・オブ・ドリームス~	2022年11月11日	¥2,500
トイ・ストーリー・マニア!	2022年6月10日	¥2,000	ビッグバンドビート ~ア・スペシャルトリート~*1	終了	2024年11月13日 ¥2,500
タワー・オブ・テラー	2022年12月9日	¥1,500	ドックサイド・スプラッシュ・リミックス	終了	2025年7月2日*2 ¥2,500
センター・オブ・ジ・アース	2022年12月9日	¥1,500	ドリームス・テイク・フライト	2025年7月16日	¥2,500
アナとエルサのフロズンジャーニー	2024年6月6日	¥2,000			
ラプンツェルのランタンフェスティバル	2024年6月6日	¥2,000			
ピーターパンのネバーランドアドベンチャー	2024年6月6日	¥2,000			

※2025年10月30日時点で公表しているものを記載しています。

*1 2025年9月30日で終了しました。

*2 2025年7月2日~9月15日の間、対象でした。

指定された時間に短い待ち時間で施設をご利用いただける無料のサービス

東京ディズニーランド アトラクション

スター・ツアーズ:ザ・アドベンチャーズ・コンティニュー

ビッグサンダー・マウンテン

プーさんのハニーハント

ホーンテッドマンション

モンスターズ・インク“ライド&ゴーシーク！”

東京ディズニーシー アトラクション

アクアトピア“びしょ濡れ”バージョン*

終了

インディ・ジョーンズ®・アドベンチャー:クリスタルスカルの魔宮

海底2万マイル

タートル・トーク

ニモ&フレンズ・シーライダー

マジックランプシアター

レイジングスピリッツ

※2025年10月30日時点で公表しているものを記載しています。

* 2025年7月2日～9月30日の間、対象でした。

2026年3月期 テーマパークイベント・新規アトラクションカレンダー

東京ディズニーランド

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
★ 1/15～6/30 NEW イツ・ア・スモールワールド with グルート									★ 12/27～ イツ・ア・スモールワールド with グルート		
★ 4/8～6/30 NEW 「ディズニー・パルパルーザ」第4弾 「Donaldのクワッキー・ダック！ダック！ダックシティ！」					★ 9/17～10/31 「ディズニー・ハロウィーン」				★ 1/1～1/12 お正月のスペシャルイベント		
★ 4/8～6/30 NEW 「スター・ツアーズ：ザ・アドベンチャーズ・ コンティニュー」スペシャルバージョン			★ 7/2～9/15 NEW 「サマー・クールオフat Tokyo Disney Resort」				★ 11/11～12/25 NEW 「ディズニー・クリスマス」		★ 1/14～3/2 「ディズニー・パルパルーザ」第5弾 「ミニーのファンダーランド」		

東京ディズニーシー

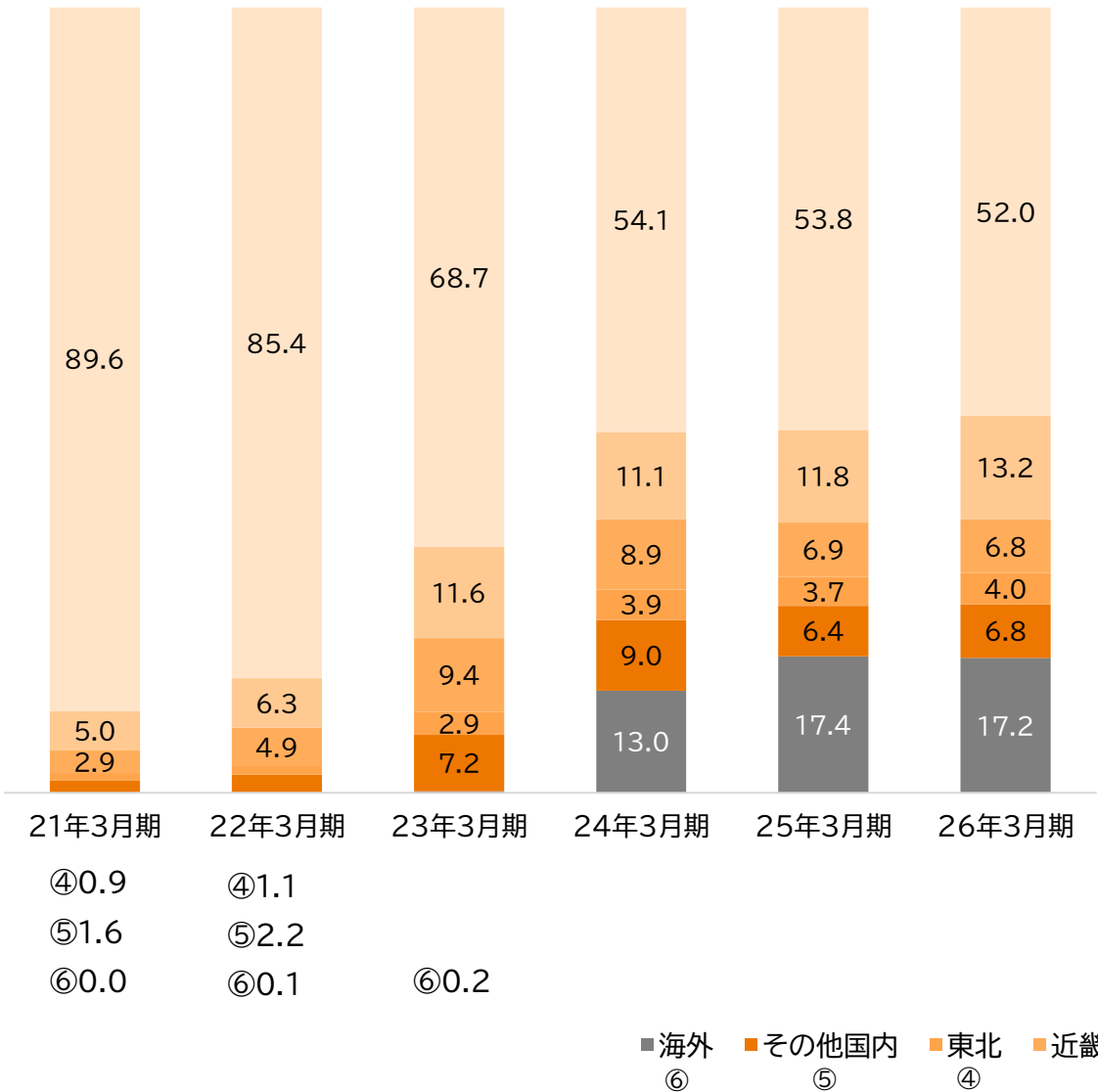
★ 2025/4/8～2026/3/19 NEW 「ダッフィー＆フレンズ20周年:カラフルハピネス」											
★ 4/8～6/30 「東京ディズニーシー・フード＆ワイン・フェスティバル」			◆ 7/16～ NEW 「ドリームス・テイク・フライト」(ハンガーステージ新規ショー)								
			★ 7/1～9/30 NEW 「We Love ビックバンドビート」								
			★ 7/2～9/15 NEW 「サマー・クールオフ at Tokyo Disney Resort」		★ 9/17～10/31 「ディズニー・ハロウィーン」		★ 11/11～12/25 「ディズニー・クリスマス」		◆ 1/14～ NEW 「ダンス・ザ・グローブ！」 (ウォーターフロントパーク新規ショー)		
★ 1/14～4/6 タワー・オブ・テラー: Level13					★ 9/17～11/2 NEW 「ラロス・デ・ラ・ファミリア」		★ 1/1～1/12 お正月のスペシャルイベント		★ 1/13～3/31 タワー・オブ・テラー“アンリミテッド”		

※イベントの名称、開催期間は変更になる場合があります。※2025年10月30日時点で公表しているものを記載しています。

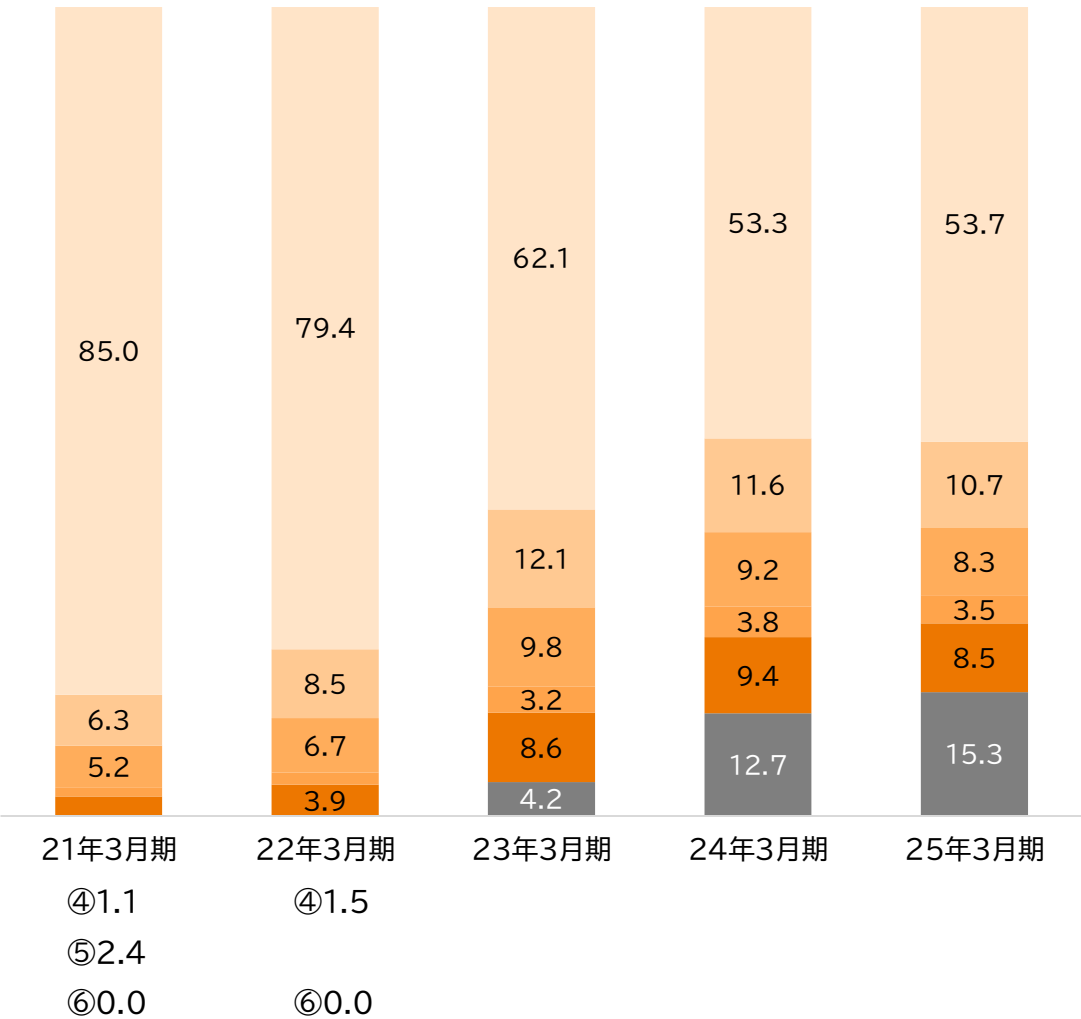
★ スペシャルイベント・プログラム ◆ 新規アトラクション・ショーなど

投資額 (有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用)	2025/3 実績	2026/3 実績	増減	主な増減要因	(億円)
テーマパーク事業	224	284	59		
東京ディズニーランド	145	162	17	スペース・マウンテンの増 『シュガー・ラッシュ』の世界を舞台としたアトラクションの増	
東京ディズニーシー	497	49	△ 447	*前年同期、東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの投資額の一部を その他から東京ディズニーシーに固定資産計上したことによる減 更新改良の増	
その他	△ 418	71	490	*前年同期、東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの投資額の一部を その他から東京ディズニーシーに固定資産計上したことによる増 更新改良の増	
ホテル事業	58	8	△ 50	東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの減	
その他の事業	207	30	△ 176	クルーズ事業の減	
(消去又は全社)	△ 1	△ 0	0		
合計	488	322	△ 166		
償却費 (有形固定資産・無形固定資産・長期前払費用)	2025/3 実績	2026/3 実績	増減	主な増減要因	
テーマパーク事業	258	276	17		
東京ディズニーランド	84	75	△ 8		
東京ディズニーシー	126	155	28	東京ディズニーシー大規模開発プロジェクトの増	
その他	48	45	△ 2		
ホテル事業	32	38	6		
その他の事業	14	14	0		
(消去又は全社)	△ 0	△ 0	0		
合計	305	329	24		

(4) 上半期 地域別来園者比率



(5) 通期 地域別来園者比率（～2025年3月期）



*' 23/9より集計方法を変更しました。

連結貸借対照表

	前期末	当中間期末	増減
A.資産の部			
流動資産	5,253	4,807	△ 445
固定資産	9,131	9,277	146
資産合計	14,385	14,085	△ 299
B.負債の部			
流動負債	2,358	1,679	△ 679
固定負債	2,252	2,118	△ 133
負債合計	4,611	3,798	△ 812
C.純資産の部			
株主資本	9,610	9,999	389
その他の包括利益累計額	163	287	123
純資産合計	9,774	10,287	513
負債純資産合計	14,385	14,085	△ 299

【A. 資産の部 299億円の減(2.1%減)】

I. 流動資産 445億円の減

(1)有価証券の減	△689 億円
(2)現金及び預金の増	177 億円

II. 固定資産 146億円の増

(1)減価償却による減	△329 億円
(2)設備投資による増	322 億円
(3)投資有価証券・その他の増	156 億円

【B. 負債の部 812億円の減(17.6%減)】

I. 流動負債 679億円の減

(1)その他(主に未払金)の減	△276 億円
(2)1年内償還予定の社債の減	△200 億円
(3)未払法人税等の減	△138 億円

II. 固定負債 133億円の減

(1)社債の減	△200 億円
(2)その他(主に繰延税金負債)の増	63 億円

【C. 純資産の部 513億円の増(5.2%増)】

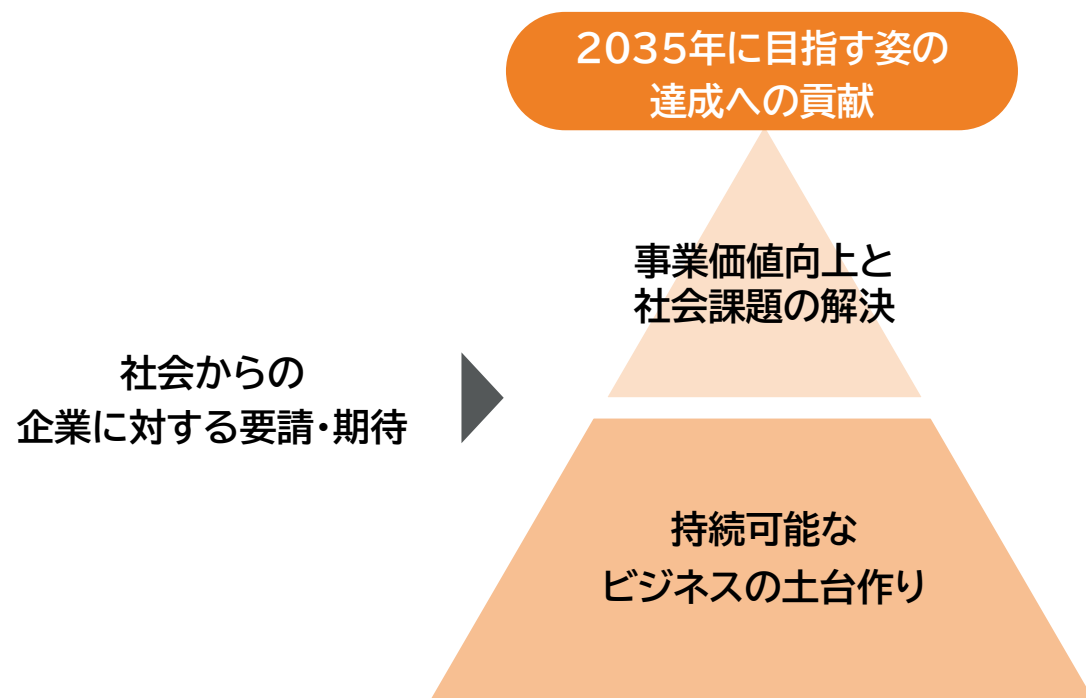
I. 株主資本 389億円の増

(1)利益剰余金の増	368 億円
・親会社株主に帰属する中間純利益による増	483 億円
・配当による減	△114 億円

II. その他の包括利益累計額 123億円の増

(1)繰延ヘッジ損益の増	85 億円
(2)その他有価証券評価差額金の増	39 億円

2025年10月にマテリアリティのKPIを更新（更新箇所:次項以降にて赤字）



ESGマテリアリティ



従業員の幸福



子どものハピネス

更新



循環型社会

→ P.37



ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン



サプライチェーン・マネジメント

更新



気候変動・自然災害

→ P.35



経営基盤の強化

従業員の幸福

ありたい姿	従業員が心から誇れる企業であり続けるために、仕事のやりがい(働くことによって得られる達成感)の向上と働きやすさ(社内環境や制度)の整備により、従業員が働く喜びを感じながら新しい価値を生み出し続けます。
2030KPI	「エンゲージメント調査」総合スコア:71(OLCグループ)
2027KPI*	「エンゲージメント調査」総合スコア 2024年度より向上(OLCグループ) ※総合スコアに影響が大きい以下の項目スコアを毎年度向上 ●職務 :職務における能力発揮と自己効力感 ●自己成長 :仕事を通じた達成感と成長実感 ●人間関係 :パークオペレーションにおける最前線のキャストと上司とのコミュニケーション時間の創出 ●環境 :職場施設の環境、処遇の納得感、働き方などの衛生要因への満足度など、働く安心感の確保
2027年までの活動計画	【実態把握】 エンゲージメント調査の定期実施、エンゲージメント調査結果を活用した現状分析と課題特定 【実態づくり】「対話」の促進(風土醸成)に向けた、取り組みの検討、実施 従業員が一歩踏み出せる、エンゲージメントの高い組織づくりに向けた、各組織主体の取り組みのサポート 働く安心感の確保に向けた施策の検討 (職場施設の環境改善、両立支援の拡充、多様な働き方強化、処遇の改善、心と体の健康支援) 【実感づくり】 従業員の実感の向上に向けた発信 (社内報での各取り組みの周知など)

子どものハピネス

ありたい姿	未来をひらく子どもたちの夢や心を育むことで、事業と社会の豊かな未来を実現します。
2030KPI	2027KPIまでの活動を進化させ、子どもたちをさまざまな角度から支援する
2027KPI	子どもたちが幸せな気持ちを抱いたり、子どもたち自身がなりたい姿/ありたい姿を実現することを支援する活動の実施
2027年までの活動計画	【東京ディズニーリゾート】 子どもも楽しめるコンテンツの充足と過ごしやすさの向上など、長期経営戦略に則った取り組みを推進 【社会貢献】 既存活動のブラッシュアップ(職場体験、ダンス出張授業など) 【クルーズ】 ファミリーエンターテインメントクルーズという当社ならではのレジャーを通じた、子どもたちの夢や心を育む取り組みの実施 2025年度より東京都連携協定での活動などを実施予定

ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン

ありたい姿	人権ならびに従業員・顧客の多様性を尊重する取り組みを実施することで、誰もが自分らしく働け、自分らしく楽しめる環境を維持し続けます。	
2030KPI	人権の尊重	特定した重要人権課題に対する人権デューデリジェンスの高度化と、グループ会社の人権デューデリジェンスの拡大
	顧客の多様性の尊重	多様性を尊重した活動ができる仕組みの構築
	従業員の多様性の尊重	多様性が尊重され、あらゆる人が活躍できる環境の構築
2027KPI	人権の尊重	- ギャップ分析を踏まえた重要人権課題の見直し、新たな重要人権課題の脆弱なライツホルダーに対する是正と救済、予防的措置の実施 「従業員」「顧客」「取引先」の領域における人権デューデリジェンスの継続、およびグループ会社の人権デューデリジェンスの開始
	顧客の多様性の尊重	「ダイバーシティ&インクルージョン ハンドブック」改訂版の発行、学習機会を提供した従業員の割合：100% - 多様性を受け入れ、行動ができる従業員の割合：2025年度中に確定
	従業員の多様性の尊重	- 女性管理職比率：25%以上（オリエンタルランド単体） - 男性育休取得率：95%以上（オリエンタルランド単体）
2027年までの活動計画	人権の尊重	「従業員」「顧客」「取引先」の領域について、人権デューデリジェンスのプロセスを回しながら、必要な対応を実施する - 重要人権課題ごとに、脆弱なライツホルダーに対して不足する取り組みへの対応を順次進める
	顧客の多様性の尊重	「ダイバーシティ&インクルージョン ハンドブック」発行に際し、インプットに加えてアウトプットの時間を設けることで従業員への浸透を強化 - ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの啓発をあらゆる階層に対して複層的に行うことで、事業活動に多様性を反映できる素地を拡大する
	従業員の多様性の尊重	【ジェンダー】 両立支援の拡充や、キャリア支援の実施 【障がい】 法定雇用率の達成と職域の拡大 【言語・文化】 外国人の雇用環境の整備に向けた検討 【高齢者】 年齢に関わらず生き生きと働ける環境整備 【性的マイノリティ】 継続的な啓発、施設面の対応

サプライチェーン・マネジメント

ありたい姿	取引先に対するエンゲージメントの強化および持続可能な原材料調達などの取り組みによって持続可能なサプライチェーンを実現します。		
2030KPI	取引先とのエンゲージメント	一次サプライヤーへ「調達方針」「OLCグループお取引先行動指針」の周知と承認100%	
	人権・環境リスクが高い品目への対応	社内で特定した品目について持続可能な原材料調達100%	
2027KPI/ 2027年までの活動計画	取引先とのエンゲージメント	- 重要な取引先へのインタビューまたは監査実施率100% - セルフアセスメントシート回答結果をもとにした、リスク懸念のあるサプライヤーへの是正支援実施100%	
	人権・環境リスクが高い品目への対応	パーム油	原材料として調達するパーム油を持続可能性に配慮されたものへ切り替え
		シーフード	原材料として調達する一部を持続可能性に配慮されたものへ切り替え
		木材	持続可能な木材調達の運用
		紛争鉱物	責任ある鉱物調達の実現に向けて、取引先へ「OLCグループお取引先行動指針」に承認頂いている
		テキスタイル	テーマパーク商品施設で販売するTシャツの原材料を持続可能性に配慮した調達へ切り替え
		紙	テーマパーク施設で取り扱う紙の一部を持続可能性に配慮されたものへ切り替え

気候変動・自然災害

ありたい姿	2050年温室効果ガス排出量ネットゼロを目指し、気候変動の緩和・適応への対応、および、水資源の適切な管理を含めた生物多様性の保全を行うことで、事業と社会の持続可能性を高めます。	
2030KPI	スコープ1・2	温室効果ガス排出量： 2024年度比42%削減
	スコープ3	温室効果ガス排出量： 2024年度比25%削減（対象：カテゴリー1,2）
	適応	2027年度までに作成
	水	2027年度までに作成
	生物多様性	環境アセスメント後、リスク・影響に鑑みて作成
2027KPI	スコープ1・2	スコープ1・2： 温室効果ガス排出量 2024年度比17%削減 スコープ1： ガス使用量の削減、燃料の変更などを検討・実行している状態
	スコープ3	スコープ3排出量： 2024年度比5%削減(対象：カテゴリー1,2)
	適応	適切な暑さ対策の実施、顕在化している豪雨、暴風等への対策の実施
	水	上水取水量： 2024年度比1%削減
	生物多様性	TNFDフレームワークに即した開示

気候変動・自然災害

2027年までの 活動計画	スコープ1	- セントラル・エネルギー・プラント熱源更新 - ジェネレーター、ボイラーにおける更新計画の立案 - エンターテインメント、アトラクション関連機器の電動化 - 社用車のEV化導入準備 - 厨房のオール電化など厨房用設備の電化検討 - モノジェネレーションシステムの運用見直し検討
	スコープ2	- 再生可能エネルギー調達(年度ごとに目標設定) - 太陽光発電設備の検討、導入 - 非化石証書の他、オフサイトPPAなどのスキーム検討 - 太陽光発電以外の再生可能エネルギーの検討
	スコープ3	重要お取引先とスポンサー企業を対象に温室効果ガス排出量のデータ収集を実施
	適応	【夏期のパーク運営の方針定義】 - ハード投資基準の明確化、対策が必要な箇所や手段の見える化(3年程度のロードマップ化)、段階的に対策を推進 - ハード投資できない箇所に対する遮熱環境の促進及び水分補給環境の充足 - 労働力の担保に向けた取り組みの方向性の検討と着実な実行、実施した対策や効果の振り返り
	水	- 節水型設備導入や再生水の利用拡大の推進 2030KPI設定に向けた検討
	生物多様性	2025年度 リスク評価 2026年度以降 取り組みの方向性の決定

循環型社会

ありたい姿	投入資源量を低下させながら、分別強化によるリサイクル率向上と廃棄物削減によって社会への環境負荷を低減し、当社ならではの資源循環型の事業モデルを実現します。	
2030KPI	入口 ※資源の投入	使い捨てプラスチック： 2016年度比総量(重量)25%削減(OLCグループ)
	出口 ※資源の排出	焼却・埋立処分量： 2016年度比13%削減(OLCグループ)
	循環 ※資源のリサイクル	リサイクル率： 80%(OLCグループ)
2027KPI	入口	使い捨てプラスチック： 2016年度比18%削減（OLCグループ）
	出口	焼却・埋立処分量： 2016年度比 10%削減（OLCグループ）
	循環	リサイクル率： 75%（OLCグループ）
2027年までの活動計画	【廃棄物の発生抑制】 オペレーション見直しによる使用資材の削減や、包材の縮小軽量化などを実施 【素材変更】 環境負荷低減やリサイクルを目的に使い捨てカトラリーや運営備品の素材を変更 【分別環境の整備】 オンステージ、バックステージともにリサイクルを促進するための最適な分別環境を整備	

経営基盤の強化

ありたい姿	各種法令および社会からの要請であるコーポレートガバナンス・コードに適切に応え続けるとともに、次世代を担う人材を育成し、企業価値を高め続けられる体制を構築します。	
2030KPI	コーポレートガバナンス・コードの遵守	コーポレートガバナンスコードが遵守できており、変化に柔軟に対応し、成長していける状態になっている
	次世代経営人材の育成	人材プール確保に向けた体制が構築でき、サクセッションプランの実現に繋がられている
2027KPI	コーポレートガバナンス・コードの遵守	・ 社外取締役の取締役会出席率： 80%以上 ・ 取締役会の実効性評価： 適正評価と改善の実施 ・ コーポレートガバナンス・コード： オールコンプライ
	次世代経営人材の育成	経営人材育成サイクルの運用や育成プログラムを実施し、経営人材の確保を進められている
2027年までの活動計画	コーポレートガバナンス・コードの遵守	コーポレートガバナンス改善に向けた情報収集
	次世代経営人材の育成	・ 育成サイクルの運用 ・ 階層に応じた複層的な育成プログラムの展開



株式会社オリエンタルランド 経理部IRグループ

www.olc.co.jp

注意事項：

本資料は、OLCグループの業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料にて開示されているデータは、発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくものです。当社グループの事業は、顧客嗜好・社会情勢・経済情勢等の影響を受けやすい特性を持っているため、本資料で述べられている予測や見通しには、不確実性が含まれていることをご承知おきください。

テーマパーク入園者数については単位未満を四捨五入、財務データについては単位未満を切り捨てて記載しています。
本資料の転載はご遠慮ください。